



受賞作品

<p>第9回 料理レシピ本大賞 in Japan</p> <p>料理部門 準大賞</p> <p>『今日のごはん、これに決まり！ Mizukiのレシピノート 決定版！500品』 Mizuki // 著 (596 ミ)</p> <p>料理部門 入賞</p> <p>『お味噌知る。』 土井 善晴 // 著 (596. 21 ド)</p> <p>エッセイ賞</p> <p>『おいしい子育て』 平野 レミ // 著 (596 ヒ)</p>	<p>1~2食材からできて、最短5分！メインの肉おかずから、野菜のサブおかずとスープ、1品ごはん、おやつ・スイーツまで、「簡単すぎて作る気になる」500レシピを紹介。Mizuki式ごはんのコツも収録。</p> <p>味噌汁には、人それぞれの立場や、場面に合わせた作り方がある。料理研究家・土井善晴とその娘である土井光による味噌汁レシピを、「自立」「家族」「おかずと組み合わせる」など5つのテーマに分けて紹介する。</p> <p>子育てと料理の喜びがたっぷり詰まった平野レミのエッセイ集。幼少期のふたりの息子との思い出から、育児と仕事との付き合い方、料理哲学まで綴る。47品のオリジナルレシピ、上野樹里・和田明日香との鼎談も収録。</p>	<p>第35回 柴田錬三郎賞</p> <p>『底惚れ』 青山 文平 // 著 (F アオ)</p> <p>『ミーツ・ザ・ワールド』 金原 ひとみ // 著 (F カネ)</p> <p>2022年度日本翻訳協会賞 第59回日本翻訳文化賞</p> <p>『ケルト人の夢』 野谷 文昭 // 訳 マリオ バルガス=リヨサ // 著 (963 バ)</p>	<p>男は、密かに想いを寄せていたお手つき女中・芳の宿下がりに同行。芳は男を刺し、姿を消した。一命をとりとめた男は、人を殺めていないことを芳に伝えるため、岡場所の顔に成り上がり…。</p> <p>腐女子の由嘉里が人生二度目の合コン帰りに出会ったのは、「私はこの世から消えなきゃいけない」と語る美しいキャバ嬢・ライだった。推しへの愛と三次元の恋。幸せを求める気持ちが向かう先は…。</p> <p>20世紀初頭、コンゴとアマゾンの先住民に対する虐待、植民地主義の罪を告発したアイルランド人がいた。英雄であり、反逆者でもあった100年前の外交官を描きながら、評伝よりも大きなスケールで人間の不思議さに迫る。</p>
--	--	--	--

ドラマ化作品

<p>早朝始発の殺風景</p> <p>出演: 山田杏奈, 奥平大兼 ほか</p> <p>『早朝始発の殺風景』 青崎 有吾 // 著 (F アオ)</p>	<p>青春は、気まずさでできた密室だ。始発の電車で、放課後のファミレスで、観覧車のゴンドラの中で。不器用な高校生達の間が、小さな謎と会話を通じて、少しずつ変わってゆく…。短編5編を収録。</p>
---	---



映画化作品

<p>鳩のごとく 蛇のごとく 斜陽</p> <p>出演: 宮本茉由, 安藤政信 ほか</p> <p>『斜陽』 太宰 治 // 著 (BF ダザ)</p>	<p>敗戦直後の没落貴族の家庭にあって、恋と革命に生きようとする娘かず子、「最後の貴婦人」の気品をたもつ母、破滅にむかって突き進む弟直治…。滅びゆく弱きものの美しさを描く。</p>	<p>ザリガニの鳴くところ</p> <p>出演: デイジー・エドガー=ジョーンズ ほか</p> <p>『ザリガニの鳴くところ』 ディーリア・オーエンズ // 著 (933 オ)</p>	<p>家族に見捨てられながらも、広大な湿地でたったひとり生きる少女に、ある殺人の容疑がかけられ…。みずみずしい自然に抱かれて生きる少女の成長と不審死事件が絡み合い、思いもよらぬ結末へと物語が動き出す。</p>
<p>あちらにいる鬼</p> <p>出演: 寺島しのぶ, 豊川悦司 ほか</p> <p>『あちらにいる鬼』 井上 荒野 // 著 (F イノ)</p>	<p>小説家の父、美しい母、そして瀬戸内寂聴をモデルに、〈書くこと〉と情愛によって貫かれた3人の〈特別な関係〉を長女である著者が描き切る問題作。</p>	<p>母性</p> <p>出演: 戸田恵梨香, 永野芽郁 ほか</p> <p>『母性』 湊 かなえ // 著 (F ミナ)</p>	<p>私は母の分身なのだから。母の願いだったから。私は愛能う限り、娘を大切に育ててきました。そしてその日、起こったこと。暗闇の中で求めていた無償の愛、温もり。「それ」をめぐる母の記録と娘の記憶、あるいは探索の物語。</p>
<p>ある男</p> <p>出演: 妻夫木聡, 安藤サクラ ほか</p> <p>『ある男』 平野 啓一郎 // 著 (F ヒラ)</p>	<p>里枝には、2歳の次男を脳腫瘍で失って、夫と別れた過去があった。長男を引き取り、14年ぶりに故郷に戻ったあと、「大祐」と再婚するが、「大祐」は事故で命を落とす。さらに、衝撃の事実が…。</p>	<p>グリーン・ナイト</p> <p>出演: デヴ・パテル ほか</p> <p>『サー・ガウェインと緑の騎士』 J.R.R.トールキン // 著 (931 サ)</p>	<p>アーサー王伝説の有名な物語を、「指輪物語」のトールキンが現代の英語に訳した作品を邦訳。「真珠」「サー・オルフェオ」など全3編と、トールキンによる解説を収録。</p>

